



2025年3月期第1四半期 決算説明会

2024年8月9日

株式会社ウイルグループ (東証プライム市場 6089)

目次

1. 2025年3月期第1四半期 実績
2. 中期経営計画(WILL-being2026)進捗
3. 2025年3月期通期業績予想、配当予想

本資料においては一部、「国内Working事業」を「国内W」、「海外Working事業」を「海外W」という略称で表記しております。

2025年3月期第1四半期 実績

1

業績ハイライト（連結）

連結

- 売上収益は、建設技術者領域の拡大により増収。
- 営業利益は、一過性の子会社株式売却益のはく落、連結除外による影響により減益。
- ノーマライズド営業利益では、国内Wにおける広告宣伝費・採用費などの投資により、計画通り減益。
(建設技術者業領域を始めとする積極採用とプロモーションの実施により、1Qはコスト先行計画)

売上収益

350.5 億円

(前年同期比 +1.8%)

営業利益

1.7 億円

(前年同期比 -84.4%)
(ノーマライズド営業利益 *1 では
前年同期比 -28.8%)

EBITDA *2

6.8 億円

(前年同期比 -58.6%)

*1 ノーマライズド営業利益： 前年同期に含まれる一過性の子会社株式売却益・連結除外の影響を除いた営業利益

*2 EBITDA： 営業利益 + 減価償却費及び償却費

業績ハイライト（セグメント業績）

国内Working事業

- 横ばい傾向が続くものの、建設技術者領域は順調に推移。
- セグメント利益は、広告宣伝費・採用費など戦略投資領域への投資により、計画通り減益。

売上収益

204.6 億円

(前年同期比 +1.4%)

セグメント利益

2.3 億円

(前年同期比 -82.5%)
(ノーマライズド^{*1}ベースでは、前年同期比 -49.3%)

海外Working事業

- 厳しい市況が続くも、政府補助金収入や為替の影響により、前年同期比で増収増益。

売上収益

145.3 億円

(前年同期比 +2.5%)

セグメント利益

5.7 億円

(前年同期比 +25.8%)

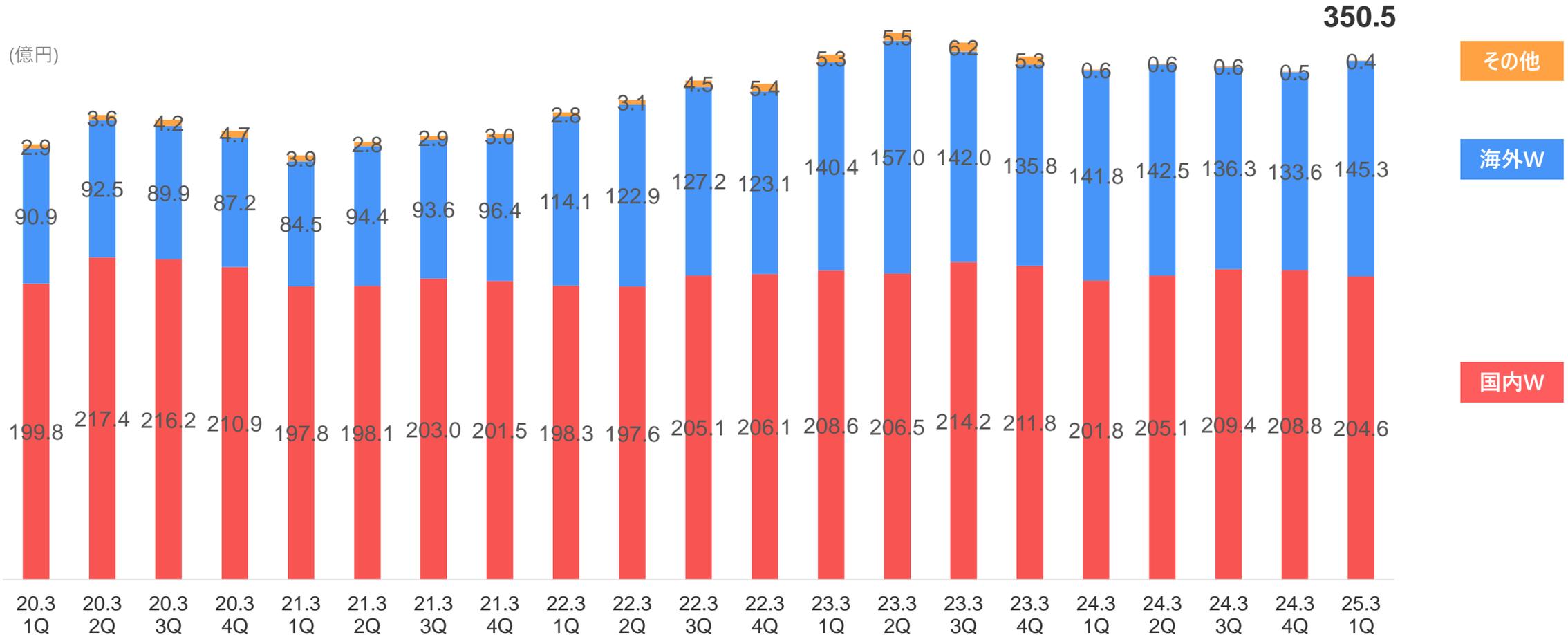
2025年3月期 第1四半期連結実績

- 1Qは、戦略投資領域を中心に順調なスタート。

【連結業績】(単位：億円)	前年同期	当期実績	増減額	増減率
売上収益	344.3	350.5	+6.1	+1.8 %
売上総利益	75.5	72.6	-2.9	-3.9 %
(売上総利益率)	(21.9 %)	(20.7 %)	(-1.2 pt)	
営業利益	11.3	1.7	-9.5	-84.4 %
(営業利益率)	(3.3 %)	(0.5 %)	(-2.8 pt)	
ノーマライズド営業利益	2.4	1.7	-0.7	-28.8 %
(ノーマライズド営業利益率)	(0.7 %)	(0.5 %)	(-0.2 pt)	
親会社の所有者に帰属する当期利益	7.2	0.6	-6.5	-90.4 %
【KPI】	計画	当期実績	進捗	前期
年間採用人数 (建設技術者領域)	1,200 名	804 名	67.0 %	1,424 名
定着率 (建設技術者領域)	71.3 %	73.6 %	+2.3 pt	71.2 %
正社員派遣稼働人数	3,274 名	3,459 名	105.6 %	3,254 名
(国内W (建設技術者領域以外))	(前期末比増加人数)	+205 名)		
外国人雇用支援人数 (国内W)	2,900 名	2,495 名	86.0 %	2,341 名
	(前期末比増加人数)	+154 名)		

連結売上収益の四半期推移

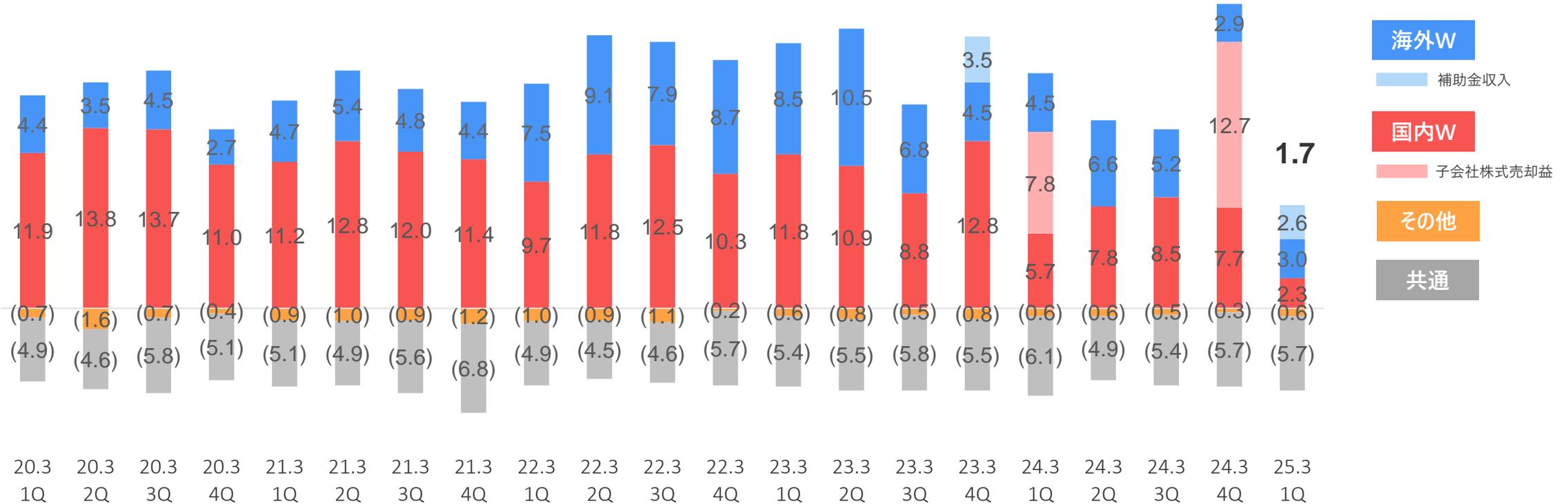
- 1Qは、24.3期4Q比 +7.5億円 (うち、為替影響 +12.1億円、連結除外影響 -9.8億円)
- 国内Wは横ばい。海外Wは人材派遣売上、人材紹介売上とも軟調に推移。



連結営業利益の四半期推移

- 1Qは、24.3期4Q比 -9.6億円 (うち、為替影響 +0.2億円)。
- 国内Wは、先行投資3.3億円を実施 (24.3期4Q比 +1.2億円)。
- 海外Wは、政府補助金2.6億円を計上。

(億円)



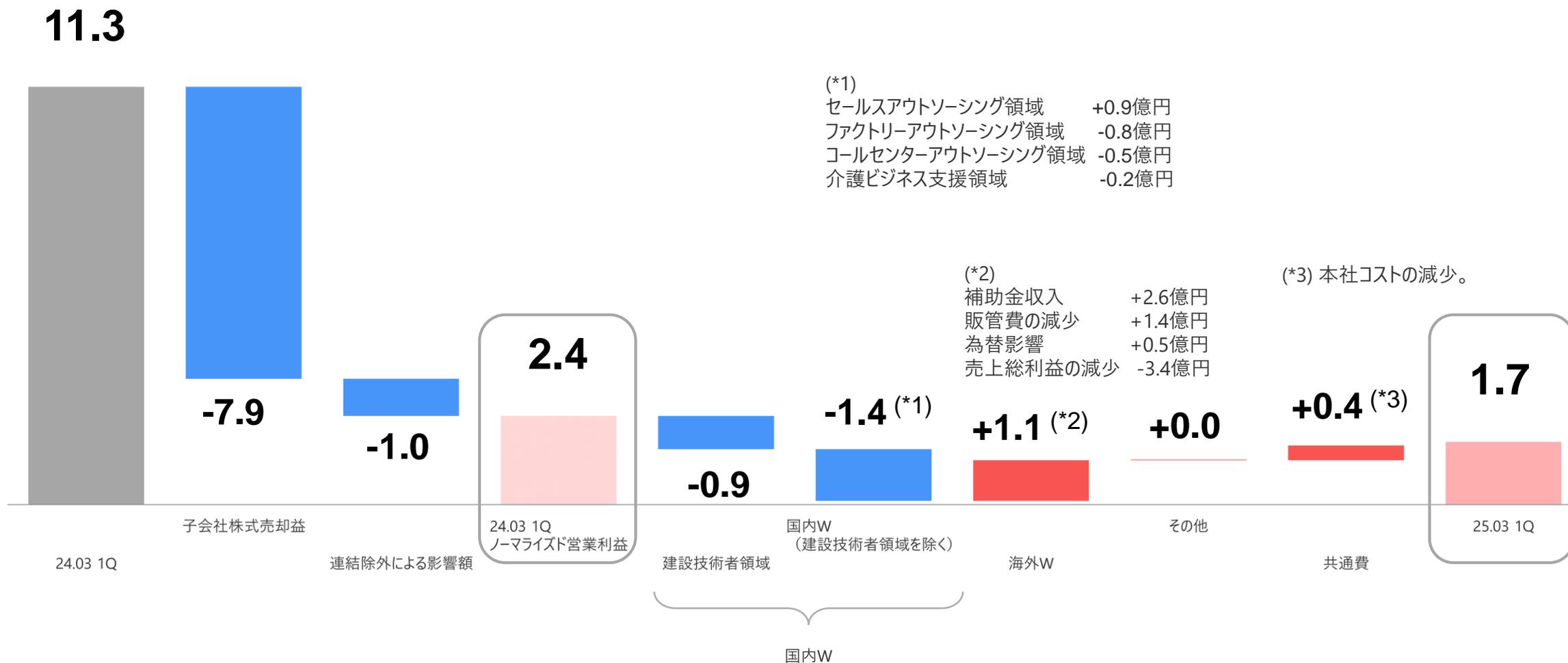
売上収益の前年同期増減内訳

(億円)



営業利益の前年同期増減内訳

(億円)

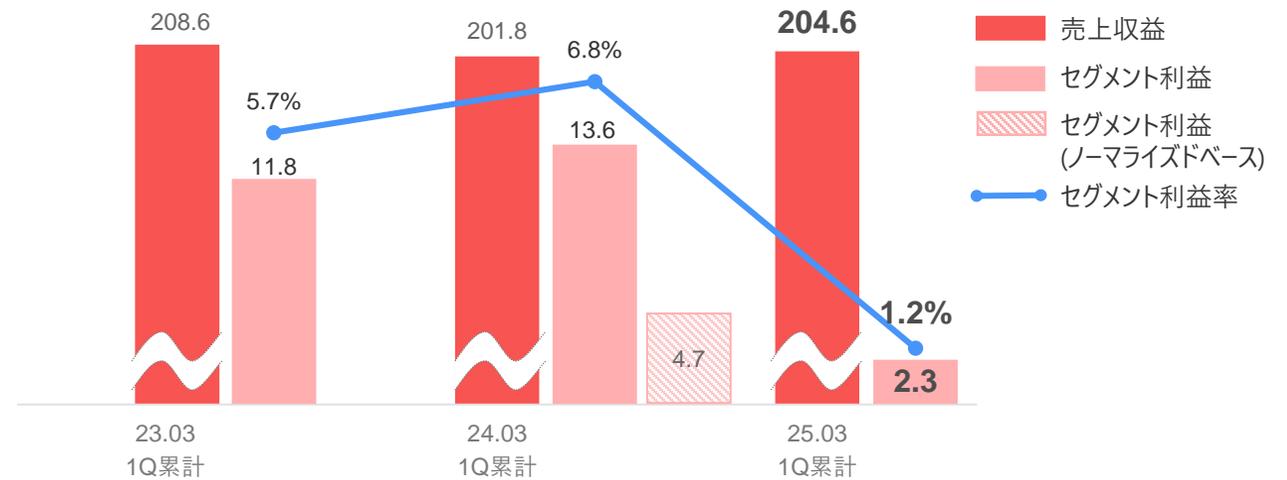


国内Working事業

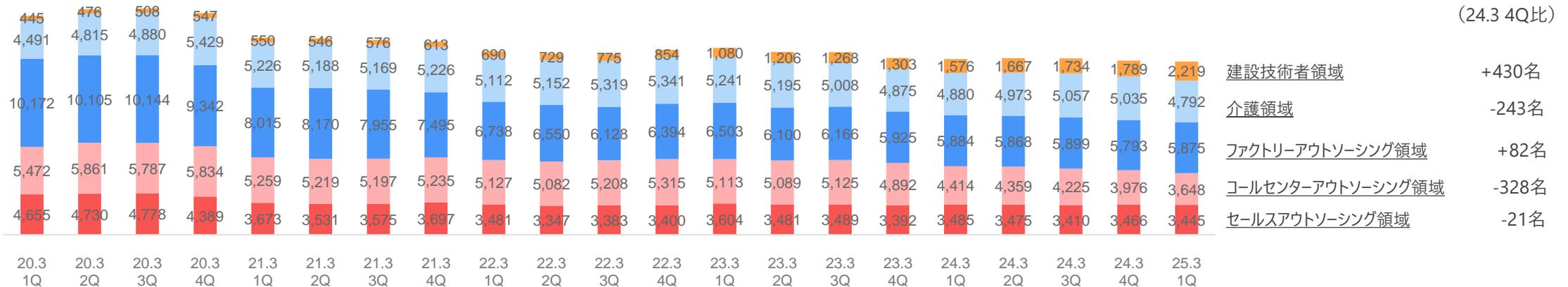
- 稼働人数は、24.3期4Qと比較して約80名減少したものの、戦略投資領域においては概ね順調に増加。
- 昨年の西日本エリアに続き、6月に関東エリアで「WILLOF」のTVCMを実施。

- 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	前年同期	当期実績	前年同期比
売上収益	201.8	204.6	+1.4%
セグメント利益	13.6	2.3	-82.5%
セグメント利益 (ノーマライズドベース)	4.7	2.3	-49.3%

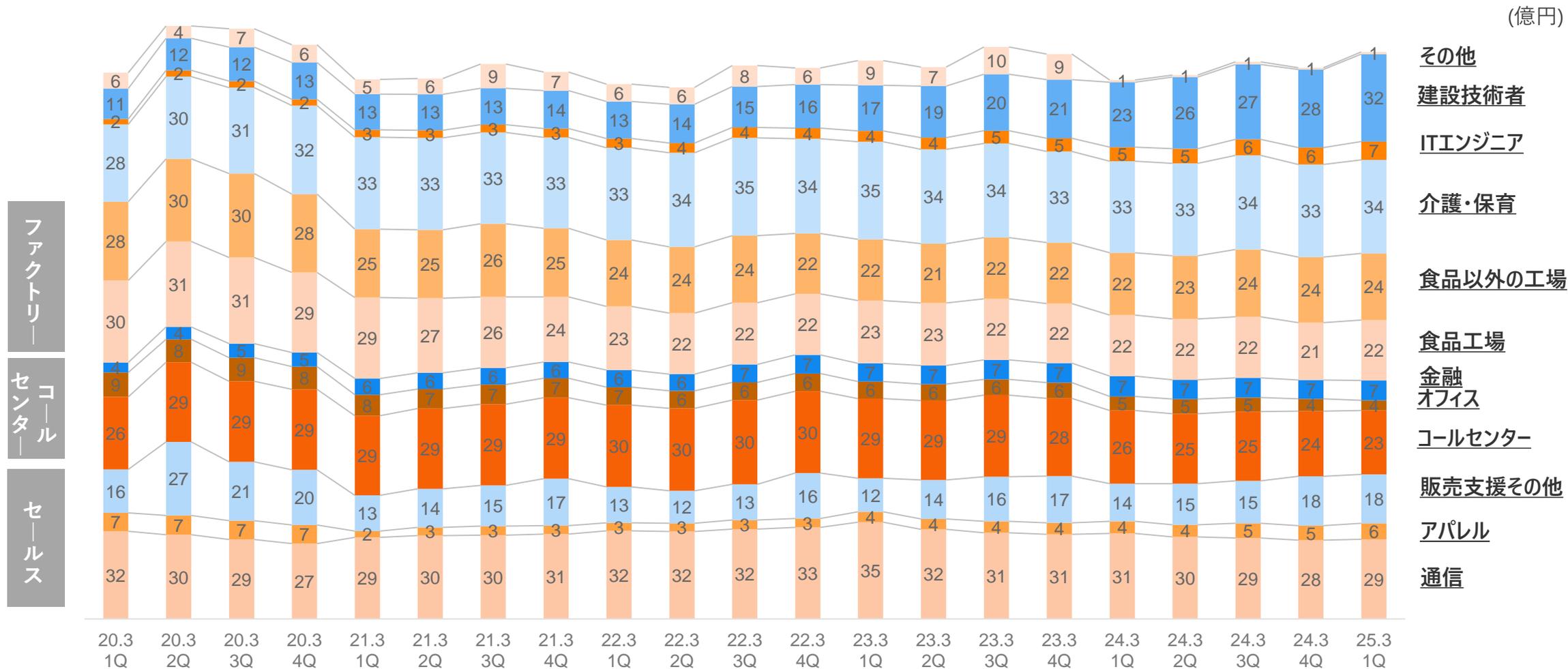


- 稼働人数 (人) -



国内Working事業（分野別売上の内訳）

- コールセンターは低迷が続くものの、建設技術者、ITエンジニアは順調に推移。

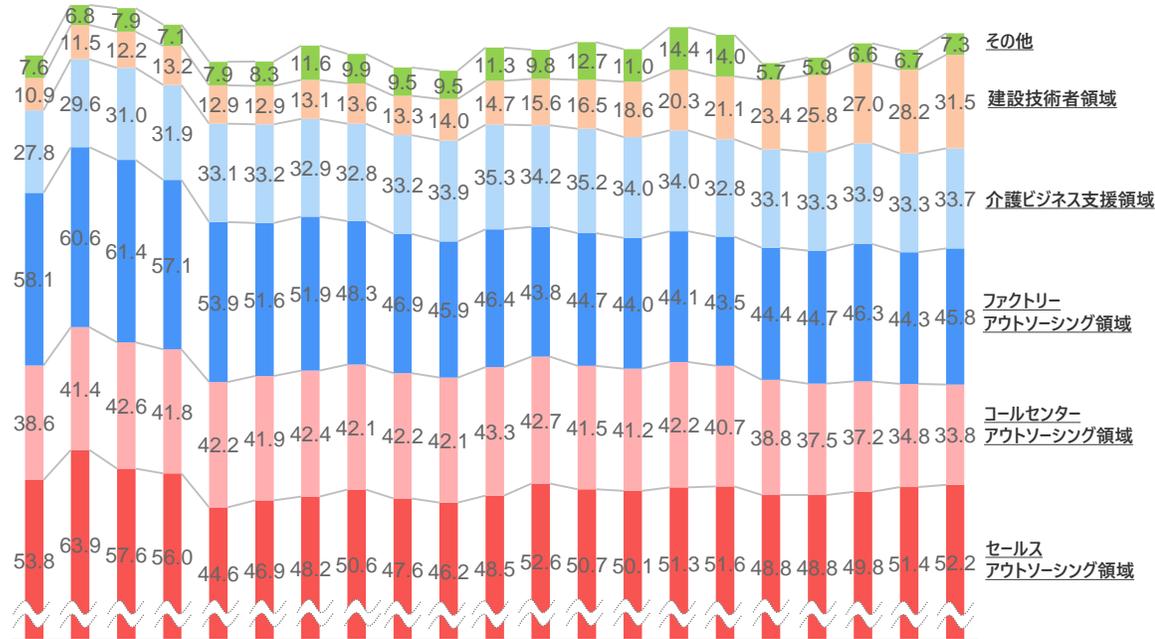


国内Working事業（領域別売上、営業利益）

- 建設技術者領域は当期より黒字転換予定。
- 中期経営計画の重点戦略推進のため、先行投資3.3億円を実施。

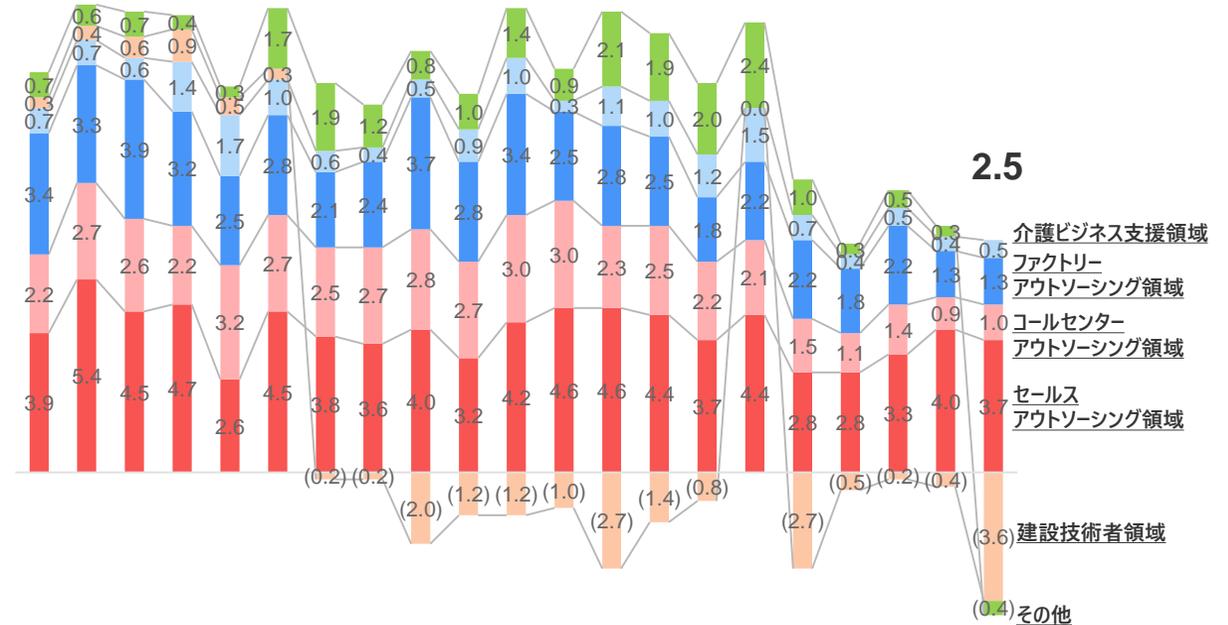
- 領域別売上 (億円) -

204.6



- 領域別営業利益 (億円) -

2.5



20.3 20.3 20.3 20.3 21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3 25.3
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q

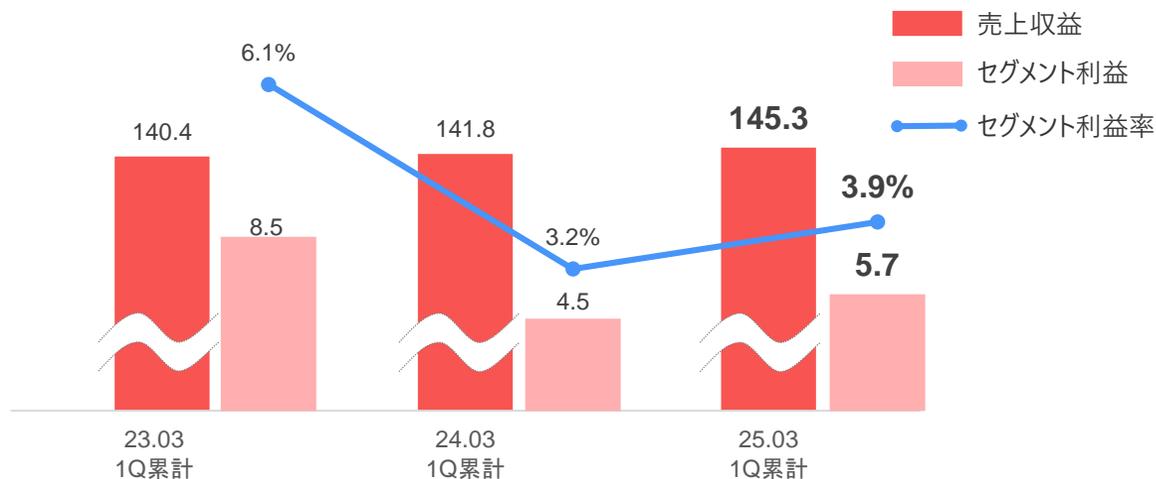
20.3 20.3 20.3 20.3 21.3 21.3 21.3 21.3 22.3 22.3 22.3 22.3 23.3 23.3 23.3 23.3 23.3 24.3 24.3 24.3 24.3 25.3
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q

海外Working事業

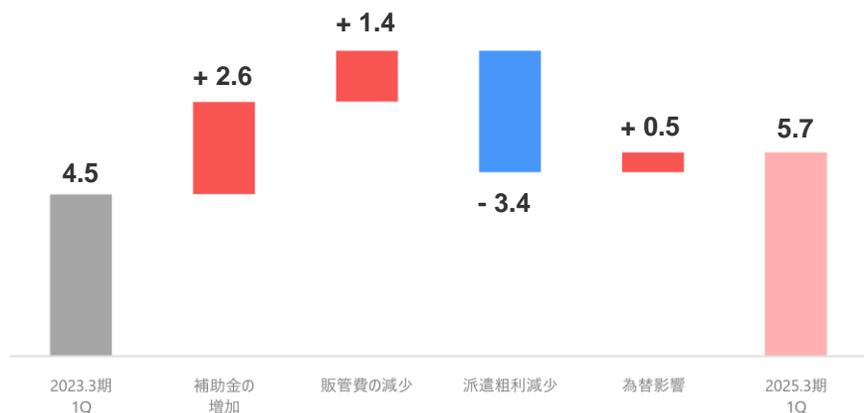
- 人材需要の低迷による採用抑制が継続し、人材派遣、人材紹介とも軟調に推移。
- 24.3期1Qと比較した為替影響は、売上収益 +18.9億円、営業利益 +0.5億円。

- 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	前年同期	当期実績	前年同期比
売上収益	141.8	145.3	+2.5%
セグメント利益	4.5	5.7	+25.8%



-セグメント利益増減要因 (億円) -



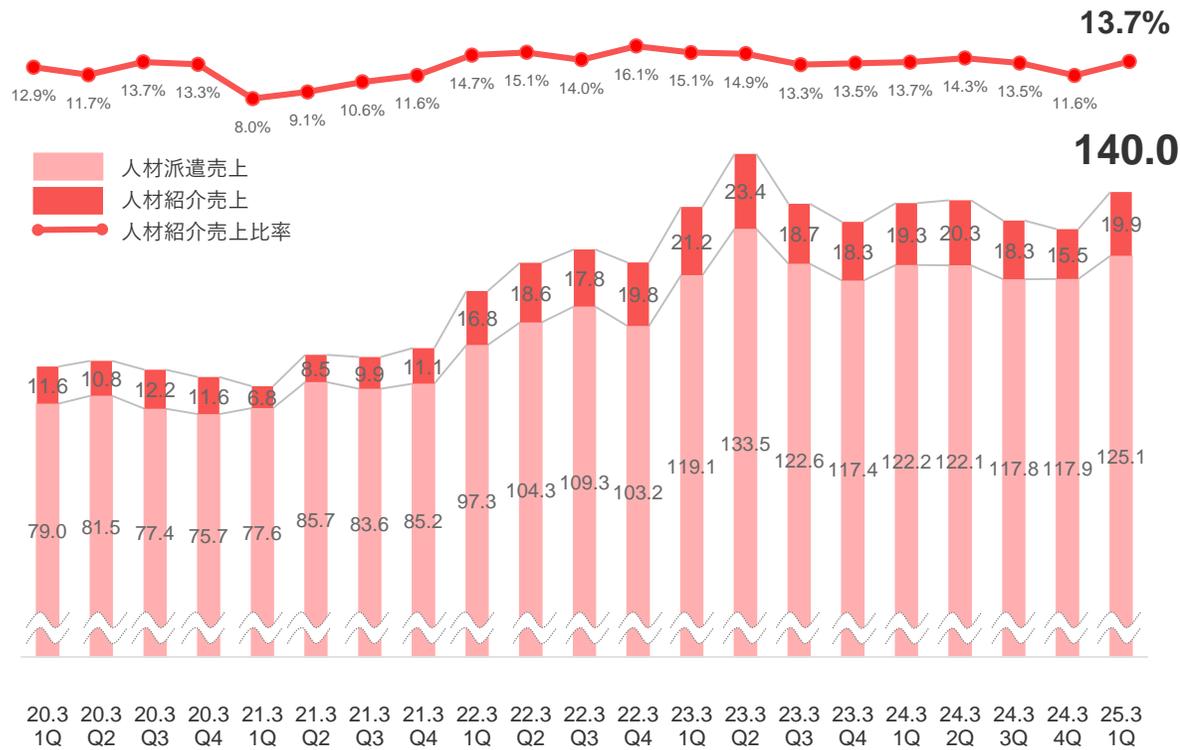
- 為替感応度 -

	計画レート	1Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
AUD	91円	103円	92円	5.6億円	0.2億円
SGD	104円	115円	103円	2.2億円	0.2億円

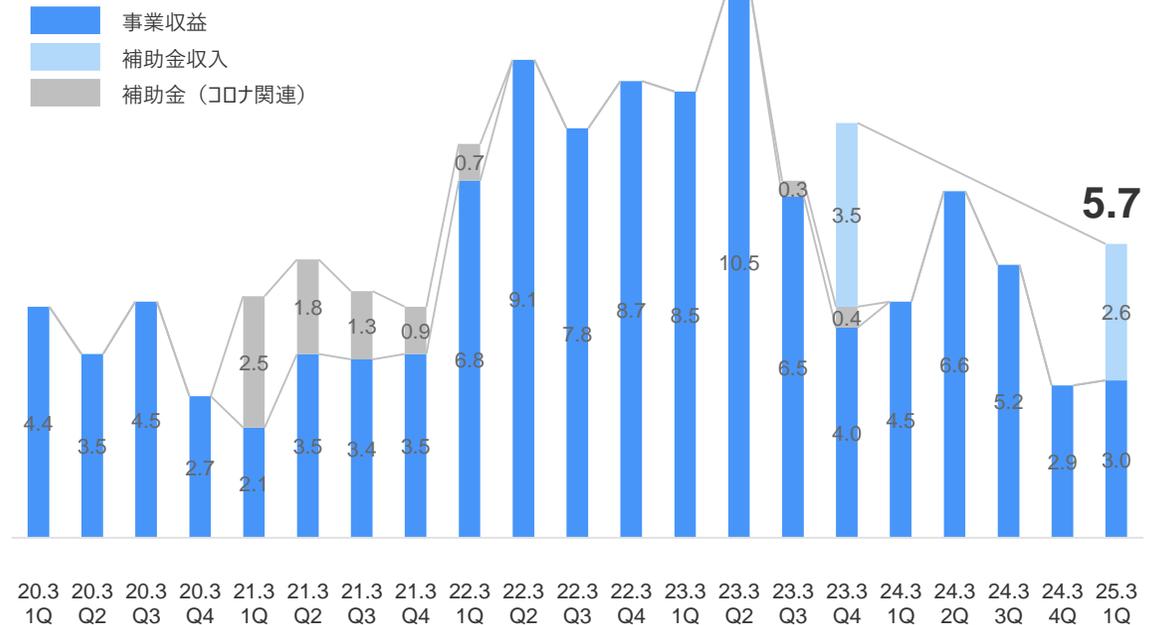
海外Working事業（契約形態別売上、営業利益推移）

- マクロ経済悪化による停滞が継続しており、各社において人員削減施策を開始。
- シンガポールにおいて政府補助金2.6億円を計上。

- 契約形態別売上 (億円) -

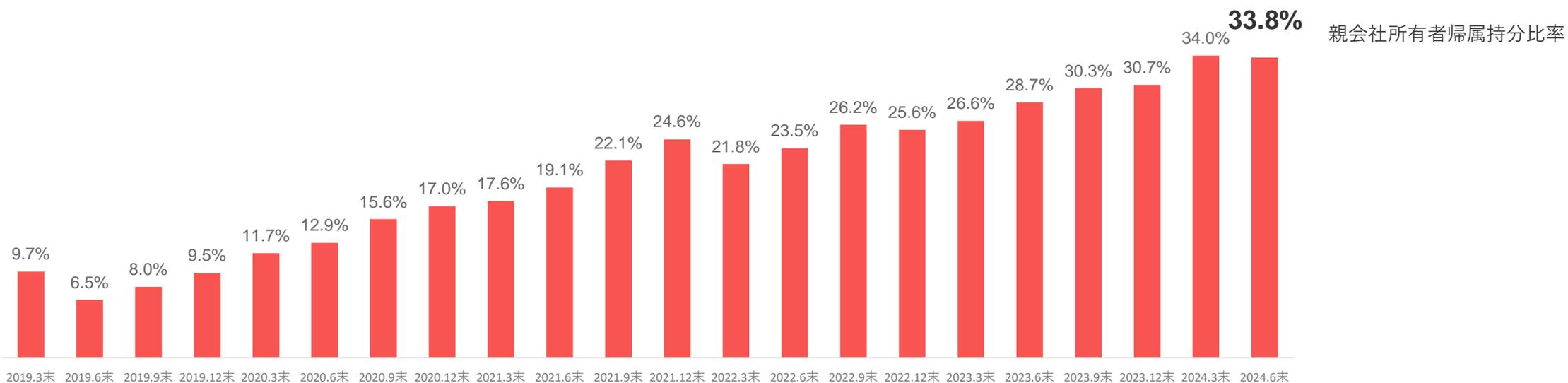


- 営業利益 (億円) -



財務指標

- 親会社所有者帰属持分比率は、1Qで33.8%。各財務指標も改善傾向。



*1: 有利子負債残高(短期借入金除く) ÷ EBITDA
 *2: のれん残高 ÷ 親会社所有者帰属持分合計
 *3: (有利子負債残高-現預金) ÷ 親会社所有者帰属持分合計

中期経営計画(WILL-being2026)進捗

2

KPI進捗

- 全てのKPIで、順調に進捗。
- 特に建設技術者領域では、新卒社員453名を含む804名が入社。

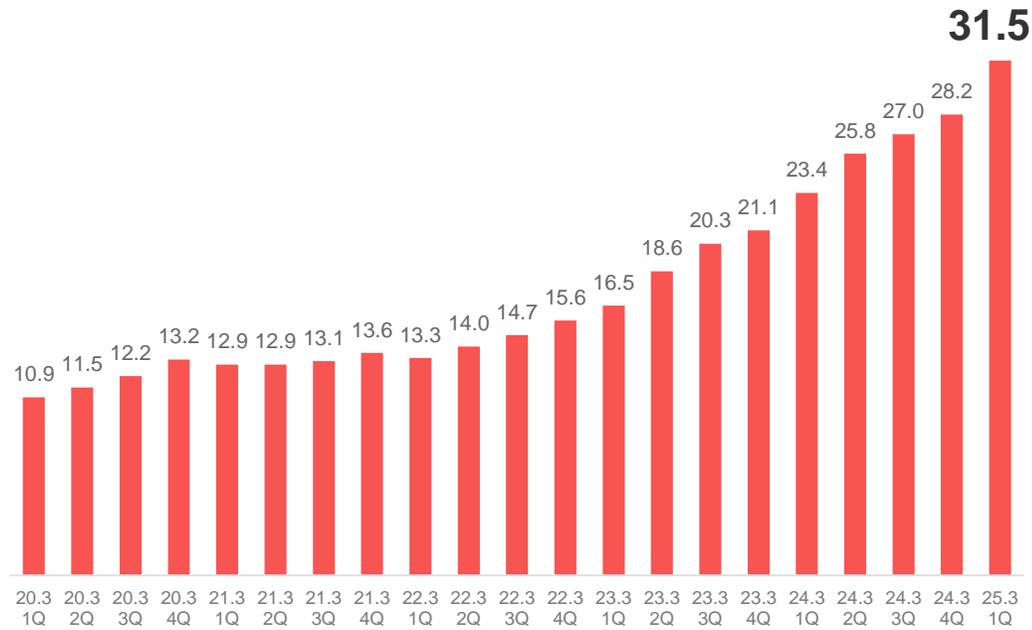
重点戦略			KPI	計画	当期実績	進捗	評価
国内W	戦略Ⅰ	建設技術者領域の 更なる成長、収益化を実現	年間採用人数	1,200 名	804 名	67.0 %	○
			定着率	71.3 %	73.6 %	+2.3 pt	○
	戦略Ⅱ	国内W(建設技術者領域 以外)の再成長	正社員派遣稼働人数	3,274 名 (前期末比増加人数)	3,459 名 +205 名)	105.6 %	○
			外国人雇用支援人数	2,900 名 (前期末比増加人数)	2,495 名 +154 名)	86.0 %	○

建設技術者領域の進捗①

- 売上は、稼働人数の増加により順調に推移。
- 採用人数は、当期目標1,200名に対し順調に推移。(新卒採用 453名 (前期 260名) を含む。)

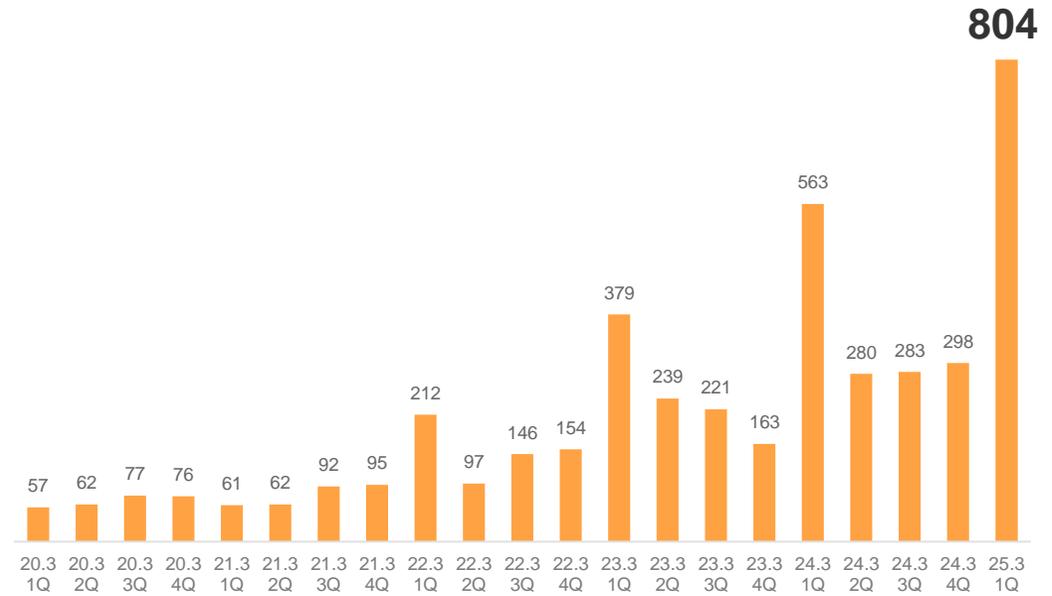
- 四半期別売上高の推移 -

(単位：億円)



- 採用人数 -

(単位：人)

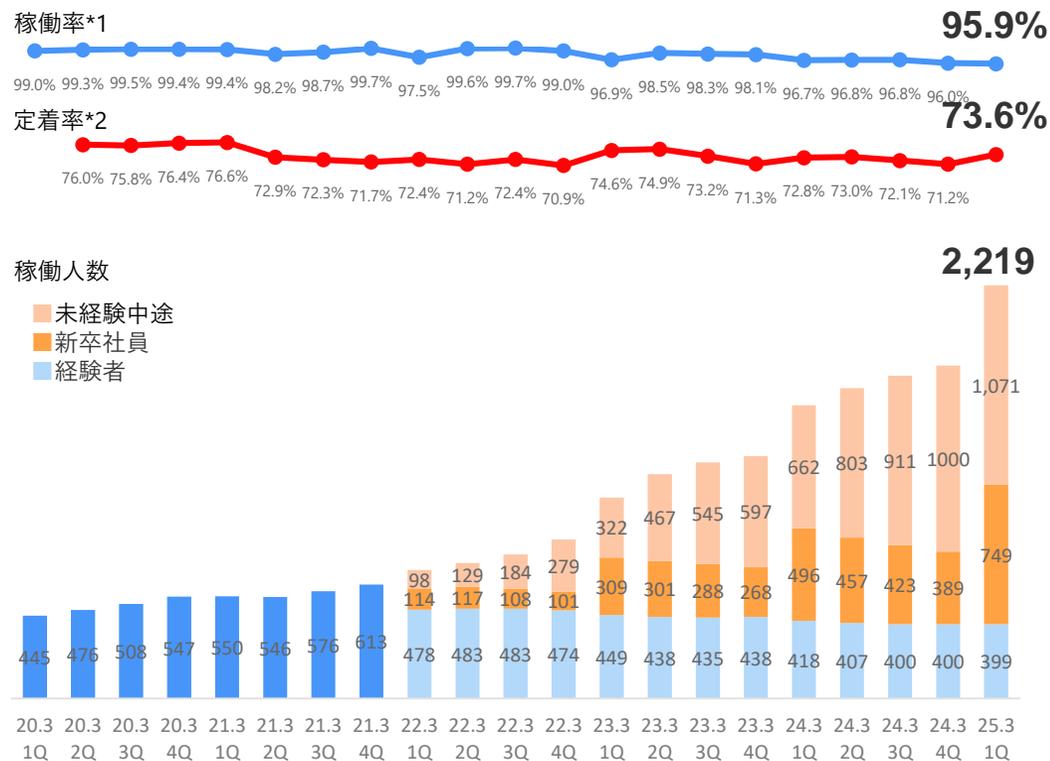


建設技術者領域の進捗②

- 稼働率は高水準で推移。引き続き定着率向上に取り組む。
- 新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により、24.3期1Qと比較して平均8%上昇。

- 稼働人数、稼働率、定着率 -

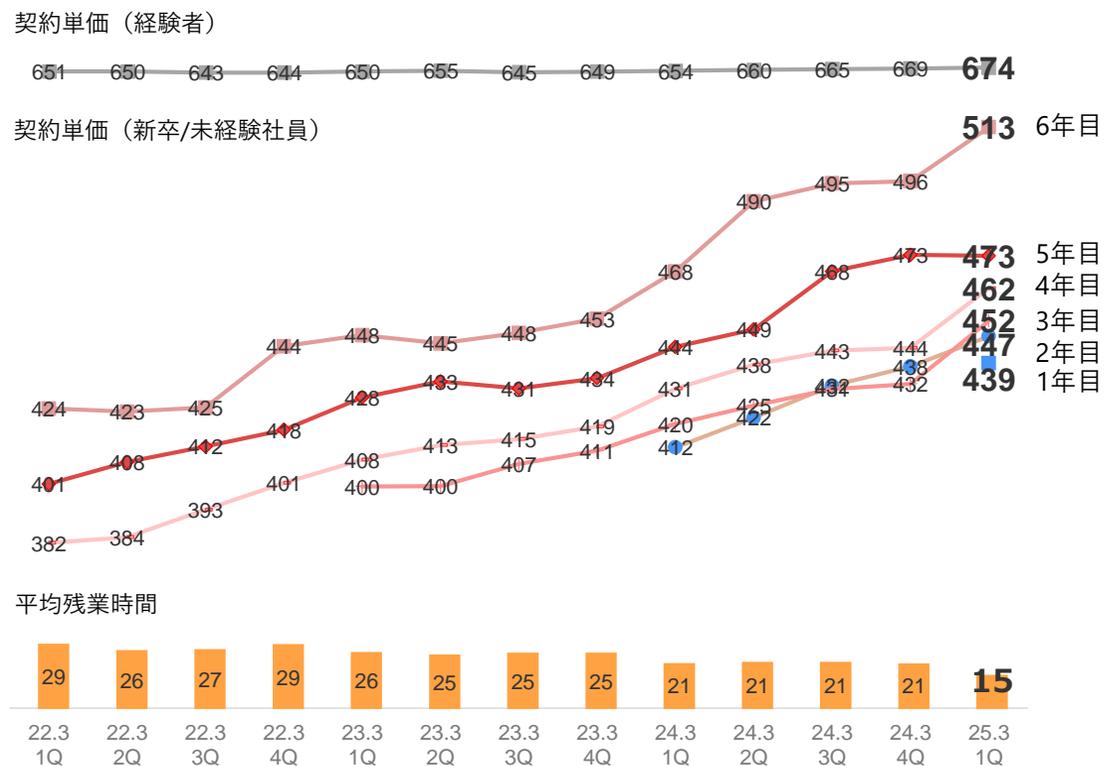
(単位：人)



*1：1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です
 *2：定着率=集計時点在籍人数÷(1年前在籍人数+1年間入社人数)÷100

- 平均契約単価、平均残業時間 (月間) -

(単位：時間、千円)

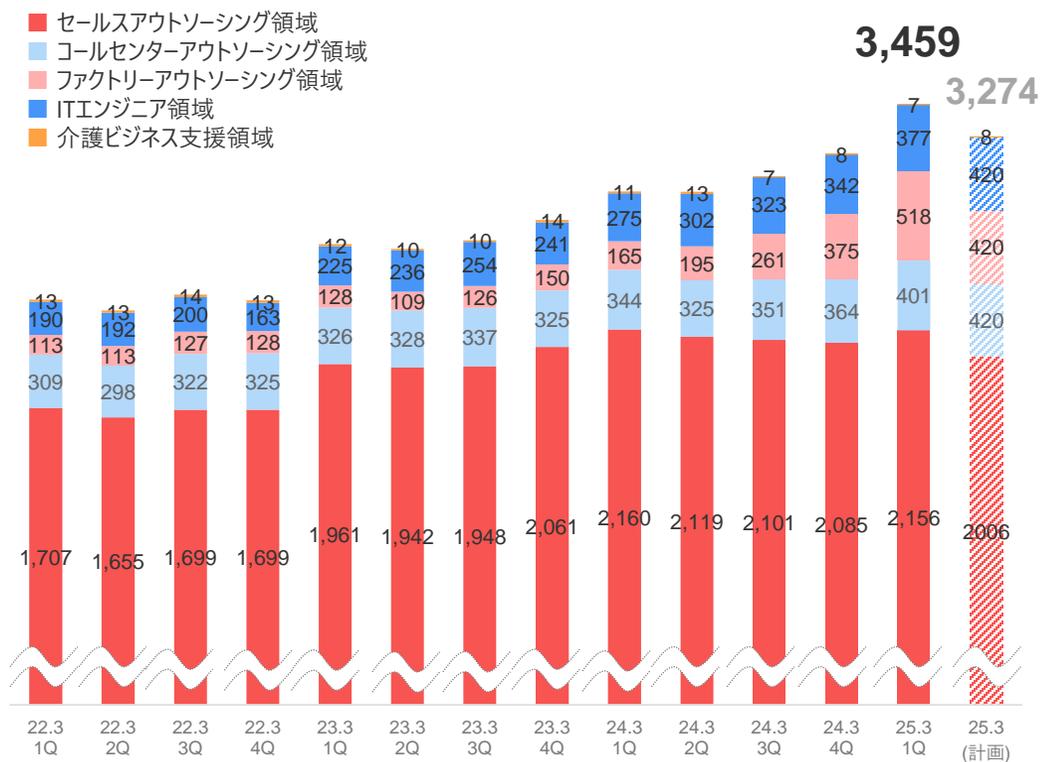


正社員派遣の進捗

- セールス領域の新卒採用約240名を含め、ファクトリー、ITエンジニア領域の採用は順調に推移。
- 採用人数の増加に伴い、正社員派遣稼働人数は四半期ベースで過去最高。

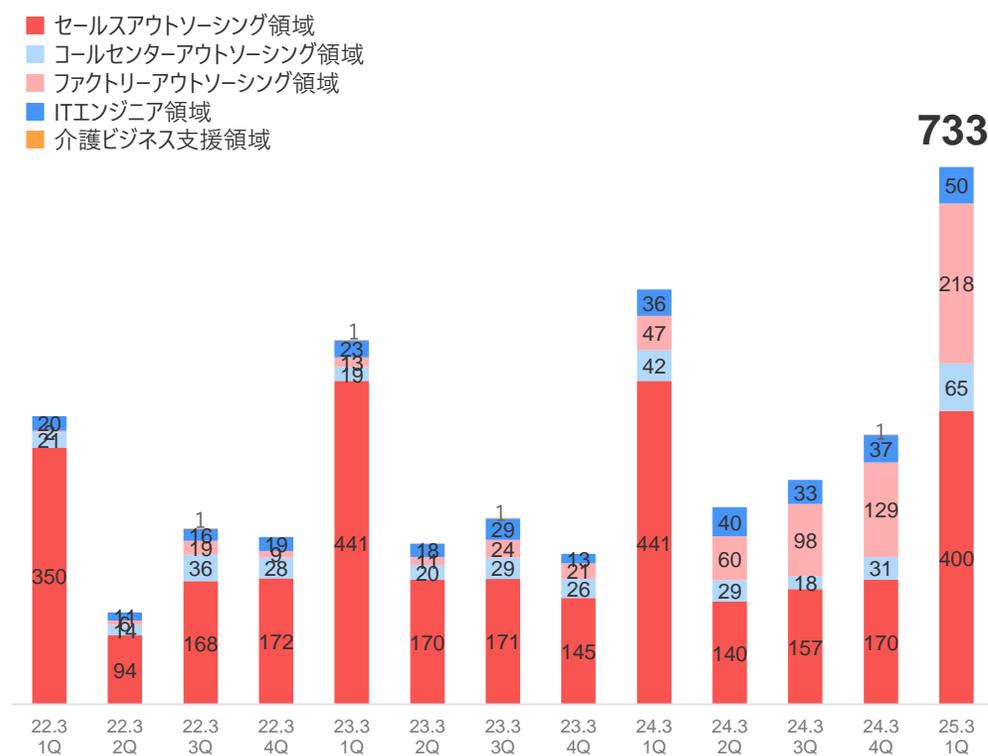
- 正社員派遣稼働人数 -

(単位：人)



- 正社員派遣採用人数 -

(単位：人)



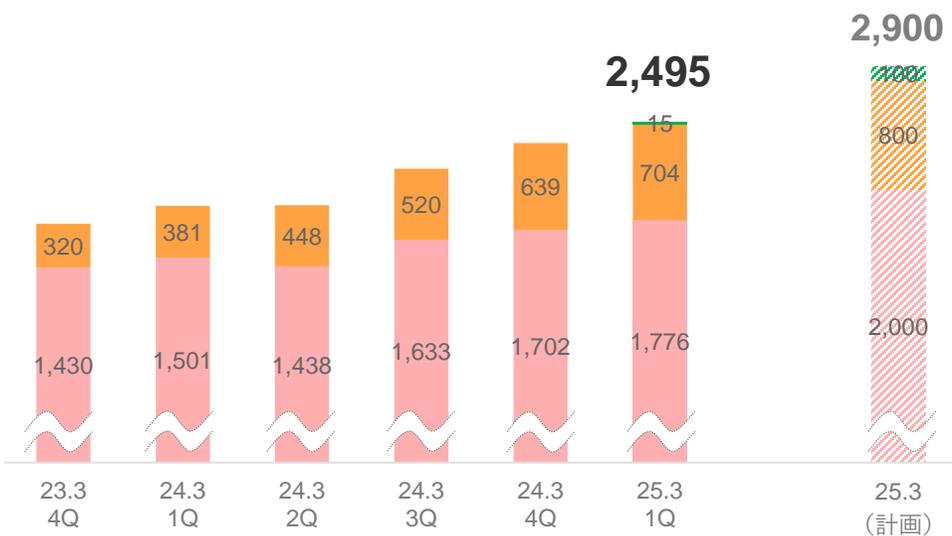
外国人雇用支援の進捗

- ファクトリー領域、介護領域ともに、社内計画に対して若干の遅れがあるものの、24.3期1Q比では堅調に推移。
- 企業からの受注数は順調に推移している一方、入社人数の積上げに苦戦。
- 引き続き、成約率が高い海外人材の受注や高単価案件の受注獲得に取り組む。

- 外国人雇用支援人数 -

(単位：人)

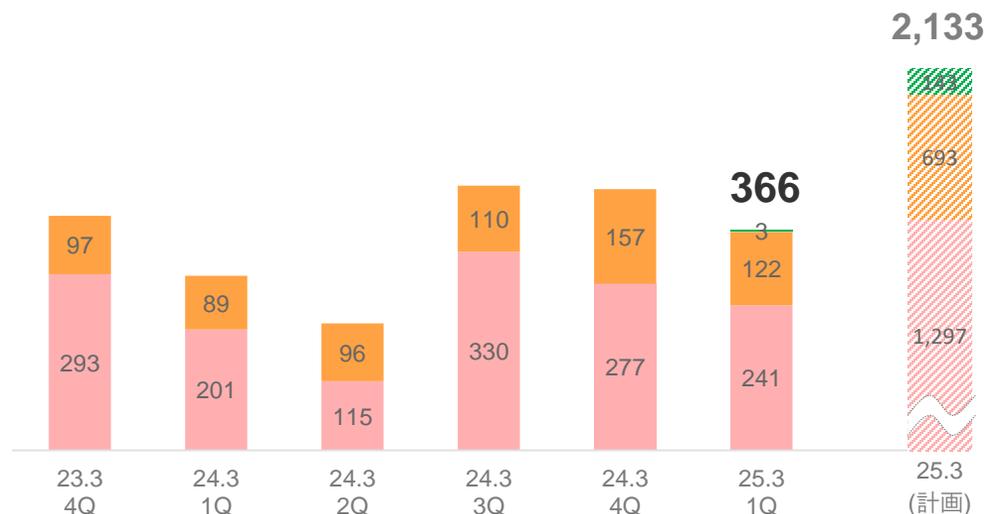
■ ファクトリーアウトソーシング領域
■ 介護ビジネス支援領域
■ 新領域



- 新規外国人雇用支援人数 -

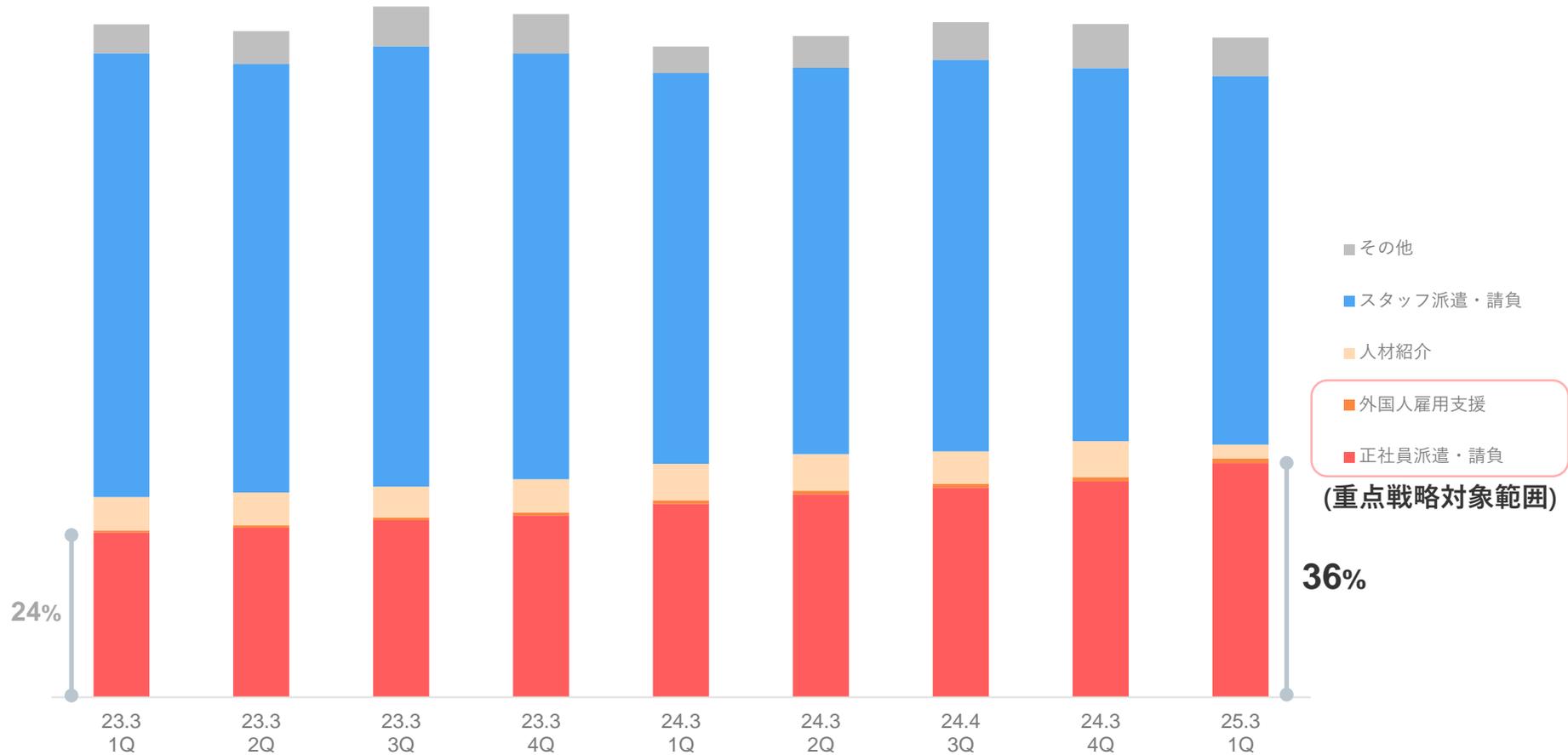
(単位：人)

■ ファクトリーアウトソーシング領域
■ 介護ビジネス支援領域
■ 新領域



国内Working事業のサービス別売上構成の推移

- 重点戦略対象範囲 (正社員派遣・請負、外国人雇用支援) の売上比率は、前中計最終年度 (23.3期) 1Q：約24% に対し、当期 1Q：約36% と順調に拡大。



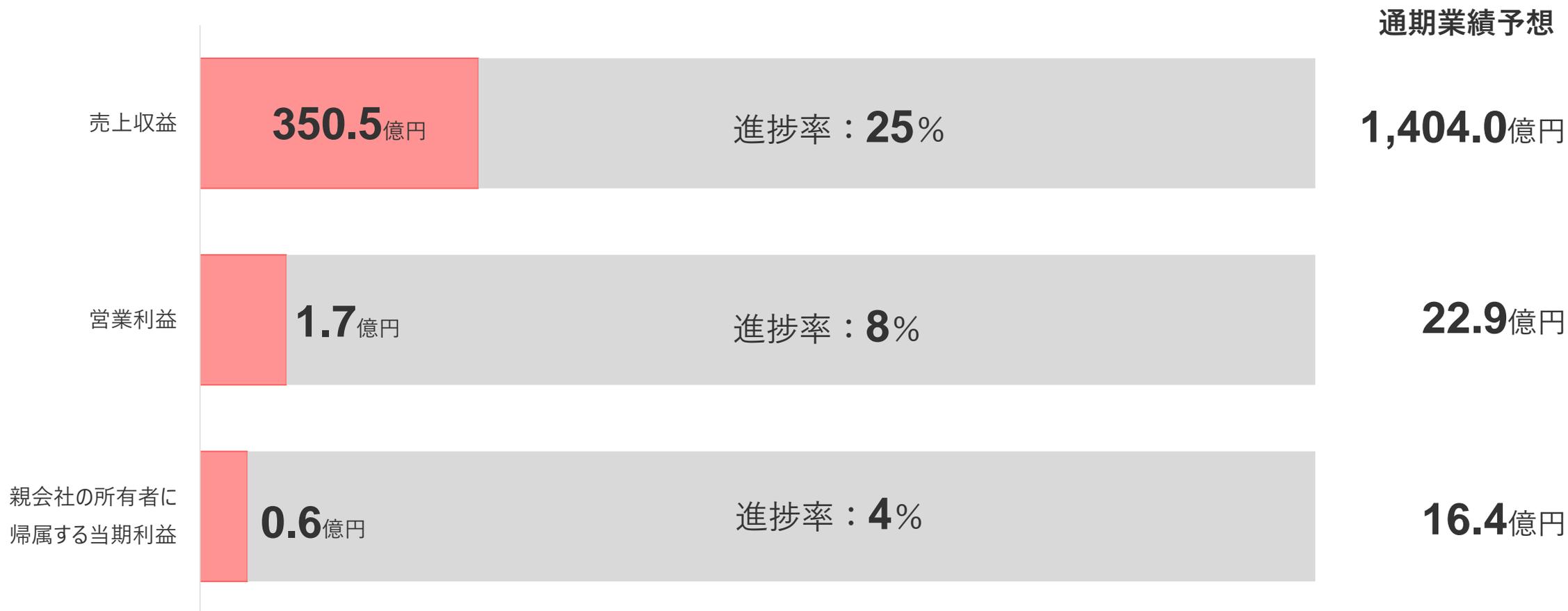
2025年3月期業績予想、配当予想

3

2025年3月期業績見通し

- 第2四半期累計期間において、為替影響と補助金収入等により、業績予想に対し売上収益で50億円、営業利益で2億円程度の上振れが見込まれるものの、実質的な業績を鑑み、通期業績予想は据置き。

- 業績予想進捗率 -



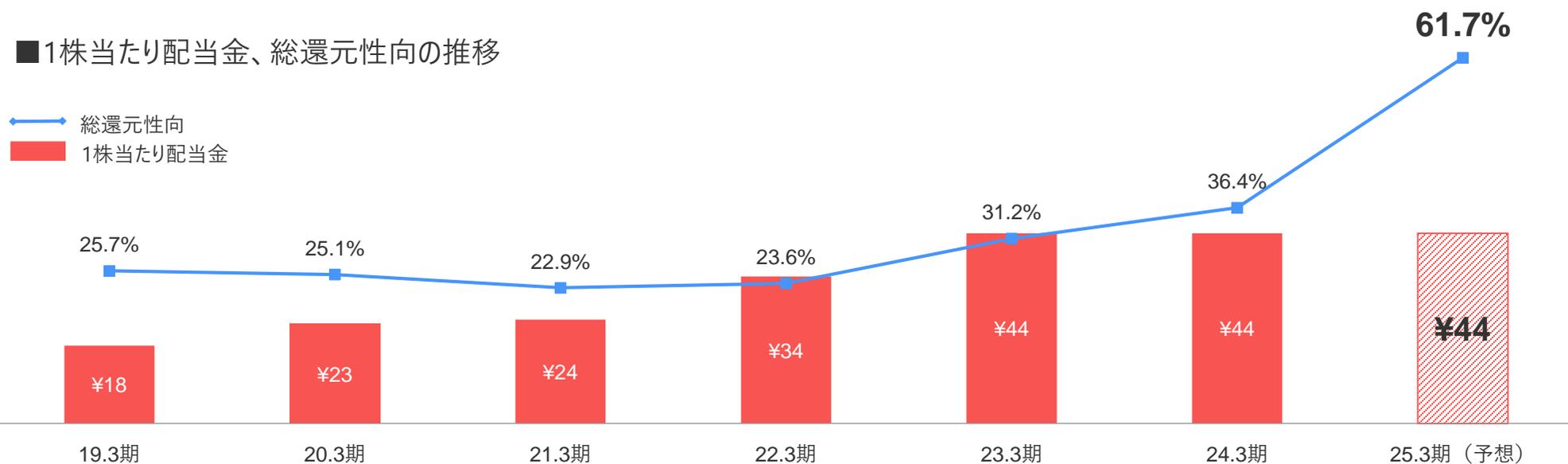
2025年3月期 配当予想

- 2025年3月期の配当予想は、株主還元方針に基づき、前期実績（1株当たり44円）を据え置く。
- 総還元性向は61.7%の見通し。

中計(24.3期-26.3期)の 株主還元方針

- 累進配当
減配を原則実施せず、増配または維持
- 総還元性向30%以上
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

■ 1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶

